

働き方改革に挑む――

女性の活躍 広がるフィールド

伊藤製作所の取り組み

金型業界でも技能者や生産技術者の人手不足感が顕著になってきた。受注増や短納期化に対応するため中小企業の中には中途採用を積極的に行うと同時に、女性の活躍をあと押しする企業が増えている。三重県四日市市に本社を置く伊藤製作所（伊藤澄夫社長）は従業員120人、年間売上高40億円の中小企業。順送り金型と精密プレス部品

加工を得意とし、その製品は多くの自動車部品メーカーなどから高い評価と信頼を得ている。受注が増える中、伊藤社長は設計・製造部門における即戦力の確保が必要だと判断。柔軟な発想を持つ女性の潜在能力に着目し、戦力に加えることにした。技術部門で活躍する女性社員二人に、仕事のやりがいや将来の夢などについて聞いてみた。



入社5年目の江藤さんと3年目の加藤さん(左)

は江藤さんです。最初はCAMの設計を行い、そのあとCAMの機能を使ってワイヤーカットとマシニングセンターの加工データを作成します。そのデータでNC（数値制御）工作機械の操作を行っています。

――今後、どのような仕事をやっていきたいと考えますか。

江藤 金型の設計者を目指しています。そのために幅広く経験を重ねていきたい。この先の結婚、育児などのことは、いま会社の方で女性社員の職場改善に取り組んでいたという最中です。だから安心して夢に一步步近づいていけると思います。

加藤 堀田課長や江藤さんのあとを追いかけていきます。今の職場はモノづくりの基礎を学べる職場なので、自分のスキルアップを図っていききたい。

――仕事もプライベートも大切だと思いますが、オフの時どんなことをしていますか。

加藤 最近、立派な福利

――江藤千尋さんと加藤有沙さんは三重県立四日市商業高校を卒業し、現在は技術部設計課で働いています。同じ職場に女性社員は何人いますか。

江藤 技術部にはもう一人、上司の堀田礼子技術課長がいます。大先輩で、私は堀田課長からCAM（コンピュータ利用設計・製造）の指導を受けました。

加藤 私のCAMの先生

では、製造現場でも活躍

最近、立派な福利

【記者の目】 伊藤製作所は女性社員の戦力強化を推進するため、人員配置、教育制度、円滑なローテーションなど抜本的な見直しを実施した。隠された女性の能力をフルに発揮できる職場づくりを目指している。



黄金荘で伊藤社長を囲む女性社員

第3種郵便物認可

伊藤製作所は2019年8月、三重県四日市市平津町に従業員の福利厚生施設とゲストハウスに利用できる「黄金荘」を新設した。若手社員確保の武器にするほか、国内外の顧客とのコミュニケーションの場としてもフル活用していく方針。

黄金荘は敷地面積580平方メートル、2階建てで延べ床面積350平方メートル。閑静な住宅街の一角にある同館のモダンな外観は、社員食堂や寮などが入る従来の福利厚生施設とは趣を異にする。屋上に太陽

福利厚生施設兼ゲストハウス新設



伊藤製作所の黄金荘

光パネルを置き、省エネにも配慮した。館内にはカラオケや生演奏を楽しむためのステージ、スポーツジム、和洋室の客室、浴室、食堂、キッチンなどを設置。また2階に本格的なシミュレーションゴルフを備えた室内ゴルフ場も設けた。

伊藤社長は「中小企業にとって人材確保は重要。それだけに社員の福利厚生対応への充実是不可欠」と話し、質の高いおもてなしで顧客満足度も上げるよう一石二鳥を得たい考えだ。



株式会社 伊藤製作所

本 社 〒512-8061 三重県四日市市広永町101 TEL (059) 364-7111 FAX (059) 364-6410

<http://www.itoseisakusho.co.jp>